

諏訪二葉高校創立 110 周年記念式典

記念講演 講師 井上松次郎氏 能楽師 (狂言方和泉流)

演題 「狂言ってなんぞや?！」

～知る・学ぶ・習う・・・。その先へ～

■講師より

とかく「古臭い」「難しい」と思われがちな伝統芸能の世界。そんな先入観を払拭すべく、まずは日常生活に溶け込む何気ない風習・言葉などを足掛かりに面白さ・意外さを探求し、実演を交えながら身近に感じていただければと存じます。

能楽の世界を、この機会に「知って」「学んで」「習って」、そしてその先にあるものとは・・・。

ご期待ください。

■プロフィール

1971 年生まれ。尾張徳川藩に由来する狂言方和泉流山脇派井上菊次郎家に生まれ、その五代目として修業・活動。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。現在は社中のみならず、東西に於いて野村万蔵・野村萬斎など同流他家の狂言師とも共演も重ねながら活動の場を拡げている。

2013 年 祖父の名跡松次郎を継承。

2014 年 文化庁・重要無形文化財指定保持者認定。

2017 年 豊田市文化奨励賞受賞。

(公社) 能楽協会名古屋支部副支部長、和泉流職分会幹事。

金城学院大学文学部・名進研小学校・静岡文化芸術大学 非常勤講師。

■出演

井上松次郎 (いのうえ まつじろう)

井上蒼大 (いのうえ そうだい)

鹿島俊裕 (かしま としひろ)

今枝郁雄 (いまえだ いくお)

(敬称略)



井上松次郎



井上蒼大

■演目解説

一、狂言「盆山」(ぼんさん) 解説付き実演

登場人物／盗人・家主

近年世間では盆山が大流行。男も所有はしているものの今一つ気に入った盆山がありません。また知り合いの主人は豪華な盆山をいくつも所有しているとの事。男は一計を案じて、その知人宅の屋敷へ夜な夜な忍び込み、好みの盆山を無断で拝借することに・・・。

盆山とは平たいお盆を下地にして、盆栽に似た鉢植えや箱庭のような物で情景を象ったものです。

狂言の基礎的な演出(特徴)が多く取り入れられていることから、学校公演などで部分解説を交えながら上演する事もあります。

(注) ストーリーの進行上、「柿山伏」と共通する部分を含みます。

二、代表生徒による狂言体験

三、狂言「蝸牛」(かぎゅう) 鑑賞

登場人物／山伏・召使い・主人

長寿の祖父にますます長生きをしてもらおうと思った主人は、長寿の薬にもなるという蝸牛(かたつむり)を召使い(太郎冠者)にとってくるよう命じます。蝸牛がどのようなものか知らない太郎冠者は、竹やぶに行けば必ずいるものだと教えられ、言われたとおりに竹やぶに着くと、そこに何者が寝ています。もしや蝸牛ではないかと思った太郎冠者は・・・。

山伏を蝸牛と取り違えるという突飛な演出に思える本作品ですが、そこは狂言のこと、そんな事を感じさせる余地のない可笑しみを誘います。

流派によっては登場人物を親子とし、子が蝸牛探しに出かける演出もあります。